

社会貢献活動 (2020 年度)

1. 学生ボランティア活動

学生団体のボランティア活動で以下のような活動を展開している。

1) ボランティア・まちづくり活動助成

ボランティア活動に取り組む学生団体や、まちづくりに携わるゼミ等を応援するために、大学同窓会と共催で活動への助成を実施。2020 年 7 月 18 日にオンライン面談を行い、8 団に対し総額 250,000 円を助成した。

2) 主な学生団体のボランティア活動

■ 聖学院大学ボランティア・アソシエーション：GRACE

学内でキリスト教行事の他、学外でのボランティア奉仕活動を展開。2020 年度は障害者支援施設へのオリジナルぬりえのプレゼントや、子育て支援施設とのオンラインクリスマス会を実施した。

■ 聖学院大学復興支援ボランティアチーム：SAVE

東日本大震災の復興支援活動を目的に発足。2020 年度は夏に「復興支援“オンライン”スタディツアー」の企画・運営を行った。

■ 学生有志によるオンラインボランティア活動

2020 年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため対面でのボランティア活動の中止が相次いだ。これを受けて、学生有志によるオンラインボランティア活動が立ち上がり、保育園や子育て支援施設とのオンライン交流プログラムが実施された。

2. 地域連携・ボランティア活動

1. 東日本大震災復興支援活動

1) 被災者支援活動等

こども心理学科特任教授・金谷京子、非常勤講師・坂本佳代子及び、臨床発達心理士会により、以下のような支援を継続。(2011 年～)

福島原発事故によって所沢に避難している親子への支援、いわき市に避難している双葉町の子どもたちへの支援、南相馬の水害への物資支援。

埼玉県内水害被災障害者施設利用者支援を実施(2019 年～)

2) 震災学習

2011 年 12 月より岩手県釜石市にて復興支援活動に取り組む。2020 年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、オンラインで現地とつながり震災学習や交流の機会を持った。

日程	内容	場所	参加人数
8 月 29 日～30 日	復興支援“オンライン”スタディツアー 学生による現地の魅力紹介のほか、現地の方々から直接お話を伺った。	オンライン	学生 17 名、教職員 14 名

3) 東日本大震災 10 年関連事業

■「未来をひらく～私と 3.11 のこれまでとこれから～」

埼玉県防災学習センターと聖学院大学ボランティア活動支援センターとの共催で、2021 年 2 月 28 日(日)、3 月 1 日(月)埼玉を中心とした復興支援ボランティアに関わる 5 大学の学生企画によるオンラインイベントを実施。

■「聖学院大学と被災地の歩み ―東日本大震災から 10 年を覚えて―」

改めて、震災と私たちの 10 年の歩みを振り返るとともに、これからについて登壇者と参加者が一緒に考える機会としてシンポジウムをオンラインで実施。

2. 地域連携活動他

2013 年 4 月、地域連携・教育センターを開設し、以降、さいたま市、上尾市、春日部市、埼玉県、岩手県釜石市を中心に地域連携活動を積極的に展開しています。2020 年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、オンライン活動を中心に地域とのつながりを持ちました。

日 程	内 容	場 所	人 数
8/24	児童学科・柴崎ゼミと学生ボランティアが社会福祉法人白桜会笹久保さくら保育園との交流会を実施	オンライン	学生 9 名
8/25	学生ボランティアが認定 NPO 法人彩の子ネットワークとの交流会を実施	オンライン	学生 6 名
11/20	学生ボランティアが社会福祉法人白桜会笹久保さくら保育園との交流会	オンライン	学生 6 名
11/26	学生ボランティアが社会福祉法人さすの会さすの里の利用者の方々へのぬりえの下絵をプレゼント	各自宅より参加	学生 4 名
12/11	児童学科・柴崎ゼミが社会福祉法人愛宕会あたご保育園との交流会を実施	オンライン	学生 10 名
12/18	学生ボランティアが認定 NPO 法人彩の子ネットワークとの交流会を実施	オンライン	学生 4 名
2021 年 2/18	学生ボランティアが社会福祉法人白桜会笹久保さくら保育園との交流会	オンライン	学生 7 名
2/26 3/2、18	学生ボランティアが認定 NPO 法人彩の子ネットワークとの交流会を実施	オンライン	学生 4 名
3/21	児童学科・柴崎ゼミが「こども☆夢☆未来フェスティバル」のなかでプログラムを実施	オンライン	学生 8 名
3/25	学生ボランティアが社会福祉法人白桜会笹久保さくら保育園との交流会	オンライン	学生 6 名

3. 学生サポートメンバー養成講座

学生と共につくる、育つセンターを目指し、2012 年のセンター開設時から年 1 回、「聖学院大学のボランティア活動を盛り上げる」学生コーディネーター養成を目的とした講座を実施。2020 年度は新型コロナウイルス感染症対応のため、オンラインで実施しました。

3. 防災用備蓄倉庫・防災拠点校

上尾市と防災用備蓄倉庫の使用等に関する協定書を交わし、2009 年より毛布、担架、発電機など非常用の備蓄品を本学倉庫に設置している。

また 2012 年には災害時における防災拠点校の使用に関する覚書を交わした。

4. 避難施設の指定について同意

本学は埼玉県、国民保護法第 148 条 1 項に指定する避難施設の指定について、2011 年に同意をした。

5. 避難所開設訓練

聖学院大学は災害が起きた場合の上尾地区住民の避難場所となっている。(2015 年度より) 年数回の上尾市・上尾地区の方と災害時避難所開設の打合せ、年 1 回上尾市・戸崎地区の方と避難所開設訓練を実施している。